

平成28年5月31日

平成28年度 学校関係者評価報告書

学校法人高村育英会

国際ペットビジネス専門学校熱海校

学校関係者評価委員会

平成28年度学校関係者評価委員

(関係企業等)

高橋 道広 氏 熱海動物愛護病院副院長 (獣医師)

(業界関係者)

荒井 嘉久 氏 一般社団法人日本ペットビジネススクール協会 (代表理事)

(近隣住民)

田代 貞男 氏 レストランたしろオーナーシェフ (近隣住民)

以上3名

(同席の本学職員)

池谷 悟 校長 自己点検・自己評価実施責任者

田代 幸子 教務主任

1 教育理念・目標

○現状と問題点

- ①教育目標、育成人材については就業規則第一条に掲載し、入学案内書・ホームページでその周知徹底を図っている。
- ②熱海市内のホテル・旅館と提携しホテル委託奨学生制度を設けている。学科、コースを分けずに業界全体のニーズに合った総合力を身に付けさせている。
- ③新たな校地校舎を取得し、分野動向に合った学科編成を検討している。

○改善のための方策

- ②委託奨学生制度の制度疲労が生じており、新たな奨学生制度の見直しと構築を検討している。
- ③関連業界の動向情報を、講師の先生方や、学校関係者評価委員の方から入手し対応する。

●学校関係者による評価

- ・教育理念や目的は、学校の教職員だけでなく、講師の先生方や保護者、学生、入学を希望する高校生、保護者、学校の先生方など全ての人たちに周知し理解や評価していただくことが大切である。

2 学校運営

○現状と問題点

- ①②運営方針、事業計画は年度末の運営会議・理事会・評議員会で決議されたものを翌年度の方針として定めている。
- ③学校法人の就業規則にその処遇については明記されており、よく整備され機能している。
- ④運営会議・理事会・評議委員会それぞれが効率よく機能している。
- ⑤法人の意思決定システムは確立している。
- ⑥事務処理関係においてネットワークで結ばれており業務には支障がない。

○改善のための方策

- ⑤システムは確立しているが、効率よくシステムを活用するための情報交換や情報共有を図る。

●学校関係者による評価

- ・法人内での情報交換、情報共有がしっかりと構築されていなければ、運営に支障をきたす。各学校内だけでなく、東京・熱海・浜松・名古屋でいろいろな情報を共有し日々の問題点を解決していくことが大切。

3 教育活動

○現状と問題点

- ①本校の育成人材は、業界のニーズに合ったものであり、総合力を身に付けた人材の養成を行っている。
- ②教育目標である「三つの信頼」を得るために、事業計画書に明確に記載している。
- ③④技術習得の実習を中心に、資格取得対策関係や職業人スキルアップ関係授業などバランス良く組み合わせている。
- ⑤授業アンケートを学年末に実施しており、結果を次年度の授業に反映させている。
- ⑥学科の教育目標に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保している。
- ⑦学則及び履修要項に従い厳正に実施している。
- ⑧資格、検定によっては特別講義や受験対策講座、補習授業を実施している。
- ⑨⑩取り組みが遅れており、早急に体制を構築する必要がある。

○改善のための方策

- ⑩今後、大学への編入希望者があると想定し、付帯教育については対処していく体制を作り上げる。

●学校関係者による評価

- ・学生が社会に出た時に困らないためにも、工作上必要なものは専門的な技術や知識だけでなくことを在学中に理解させ、すべての教科の繋がりや関連性を認識させる必要がある。

4 学修成果

○現状と課題

- ①平成27年度は卒業者数61名に対し就職内定者は53名で、内定率は86.9%であった。在学中に進むべき方向を決めきれない学生への就職指導が課題である。また、卒業生に向けての就職情報発信の方法を構築する必要がある。
- ②資格取得への意欲にばらつきがあり、資格試験への受験を放棄してしまう学生がいた。
- ③個別面談、三者面談、課外活動等を実施し退学の低減に努めたが、経済的理由で退学していく学生については、指導が難しい。
- ④定期的に企業訪問などを実施し卒業生の活躍状況を把握している。在校生は企業実習終了後の考課表にて評価を確認している。

○改善のための方策

- ①②本校に入学した目的は、資格取得と就職であることを明確にし、資格と仕事の関連性を理解させる。
- ③学校と保護者との連絡を密にし、学生の小さな変化に気付き情報を共有する。
- ④ホームページ上で卒業生との交流ができるシステムの構築。

●学校関係者による評価

- ・資格取得や学生の授業への取り組み方に課題があるようだが、他の学校の先生方に聞いても、同じような悩みを持っている。全てではないが、学生たちの精神的な低年齢化により、80分や90分の授業に集中して取り組めない学生がいると聞く。また、スマホやテレビ番組なども場面展開が早く、じっくり話が進んでいくと言うことが少なくなっている。授業1コマの中で細分化するなど、現在の学生に合った授業展開を工夫する必要がある。
- ・座学などは、机に向かっている時間が長いので動きのある授業や興味を引く授業展開が必要である。

5 学生生活支援

○現状と課題

- ①「就職ガイド」の授業で全体指導を行い、放課後等には個別面談を実施し支援体制を整えている。
- ②日常的な問題は、クラス担任が対応している。その上で全体への報告・相談を行い、教職員共通理解のもとで問題解決を模索している。
- ③委託奨学生制度・オリエンテーションの学校独自の支援と、日本学生支援機構・国の教育ローンの支援制度を導入している。
- ④学校医を置くとともに、全学生の健康診断を4月に実施している。
- ⑤通学路や駅周辺の清掃、学校所在地域で行われている祭りやイベントのスタッフとして参加している。学生自治会を設け、球技大会などを実施している。
- ⑥ホテル委託奨学生については、契約ホテルより各社員寮を提供して頂いているが、学校が運営する学生寮はない。
- ⑦定期的な出席状況報告書と定期試験結果報告書を保護者宛に送付している。その他、欠席連絡や必要に応じて面談を行っている。
- ⑧同窓会などの実施をできる限り援助しているとともに、再就職支援など「卒業後10年」を目途に支援体制を整えている。

○改善のための方策

- ②本校に比較的多い分野の悩み相談について、専門知識を持つカウンセラーの配置。
- ⑧ホームページ上での卒業生対象のコミュニティーコーナーの構築。

●学校関係者による評価

- ・経済的な問題を抱え、進学できない生徒に対してどこまで支援できるのか。日本学支援機構の奨学金制度が、進学後だけでなく、高校在学中に予約できることを知らない保護者もいる。支援のシステムを保護者によく理解してもらう説明の機会が必要。
- ・所在地である熱海市の行政と協力して、学校のPR活動が何かできないものか。熱海

市の観光業が活性化してきたこともあり、ペット校だけでなく観光・医療の学校3校で「熱海にある専門学校」としてアピールしてはどうか。

6 教育環境

○現状と課題

- ①十分とは言えないが、最低限度の設備は整備されている。
- ②校外研修や企業研修を実施。海外研修については実施していない。
- ③年2回の防災訓練と飲料水・非常食・簡易防寒具の準備をしている。

○改善のための方策

- ①実習環境の定期的な点検・整備の実施
- ②新たな企業実習先の開拓

●学校関係者による評価

- ・防災対策において、食料や飲料水などの確保は当然であるが、大きな震災の後、問題とされているのは、トイレである。防災用品として簡易トイレなどもあるので、購入を検討してみてはどうか。
- ・震災時、学校の建物が避難所になる場合がある。地域住民の方たちとの話し合い、意見交換の時間を持ち、学校がどこまで開放できるかなどを知らせておく必要があるのではないか。

7 学生の受け入れ

○現状と問題点

- ①一日体験入学の開催及び会場・校内ガイダンスへの参加・高校訪問等、精力的かつ適切に実施している。特に体験入学については、毎年・毎回、内容に変化を加えながら参加者・リピーター数の増大を図っている。
- ②本校の特徴である「5つの資格取得」が志望理由の多くを占めている。
- ③高等学校推薦、一般入試（作文試験・面接試験）を実施している。
- ④同分野の他の専門学校と比較しても低額にて、充実した教育内容になっている。

○改善のための方策

- ①体験入学参加者の満足度をリサーチし、内容を工夫する。ホームページのリニューアル及びスマートホン・タブレット端末への対応を実施して、募集効果の拡充を図る。

●学校関係者による評価

- ・高校生に限らず、幅広い年齢層に情報発信を行い、入学者の増加を図る必要がある。
- ・ガイダンスでは、対象者に対し分かりやすく簡潔な学校説明のテクニックが必要。

8 財務

○現状と問題点

- ①中長期的な事業計画内容から見て、本学校法人の財務基盤はほぼ適切で安定している。
- ②評議委員会・理事会において決議されたものであって、本学校法人としては適切なものになっている。
- ③2名の監事によって、毎年適切に行われている。
- ④学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価」「学校関係者評価」「財務関係」報告書を公開している。

○改善のための方策

- ①日常経費の支出の必要性及び妥当性を考慮して、支出金伺いを提出する意識を徹底すること。

●学校関係者による評価

- ・学校の財務は、入学者数によって変化する。ハードとソフトがバランスよく配置され、そこに適切な支出がなされているか費用対効果の検証が大切である。

9 法令等の遵守

○現状と問題点

- ①定員数・教員資格等の専修学校設置基準については、守るべき項目は遵守できている。
- ②個人情報に関するデータの校外持ち出し厳禁、PCセキュリティに関しても問題なく対応している。

○改善のための方策

- ②マイナンバーに係る個人情報の保護管理については、新たな管理体制を導入し万全を期す。

●学校関係者による評価

- ・特に問題は無く、各項目とも適切に行われている。

10 自己点検・自己評価・第三者評価

○現状と問題点

- ①実施し改善を行っている。
- ②学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価報告書」「学校関係者評価報告書」を公開している。
- ③第三者評価は実施していない。

○改善のための方策

- ③第三者評価の実施を法人で検討する必要がある。

●学校関係者による評価

- ・第三者評価は、多額な経費が必要と聞く。実施に当たっては、必要性をよく検討して実施することが重要である。